

Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社

CSR REPORT 2023

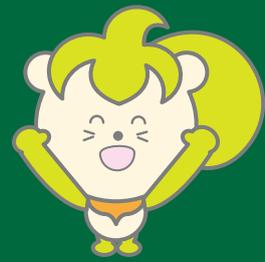
連携・環境変化への対応・挑戦



CONTENTS

I. 河内長野ガス概要	1
II. Top Message 社長メッセージ	4
III. 河内長野ガスのCSR活動に関する考え方	5
IV. Topics	8
V. 安心・安全への取り組み	11
VI. 快適な生活をご提案	19
VII. 子どもたちの明るい未来のために	27
VIII. 働きやすい職場づくり	33
IX. コンプライアンスの取り組み	36

I 河内長野ガス概要



1 河内長野ガス株式会社 会社概要

商号	河内長野ガス株式会社	
設立	1961年9月	
資本金	3,000万円	
売上高	24億7,500万円(2023年3月期)	
役員	代表取締役会長	山本 明彦
	代表取締役社長	吉田 顕
	常務取締役	山中 一恭
	取締役	安川 浩
	社外取締役(公認会計士)	田淵 正信
	監査役(弁護士)	吹矢 洋一
	執行役員	小嶋 正士



河内長野ガス社屋

従業員数(契約社員、パートナー含む) 72名(2023年4月1日現在)

所在地 大阪府河内長野市昭栄町14-31
TEL.(0721)53-3561(代)
URL.<http://www.naganogas.co.jp>

- 事業内容
- 1.都市ガスの供給事業
 - 2.ガス工事の請負
 - 3.ガス機器の販売
 - 4.リフォーム事業
 - 5.液化石油ガス*販売事業
 - 6.電気の販売事業

*液化石油ガス=プロパンガス



河内長野ガス
マスコットキャラクター
ふらむちゃん

主要取引銀行 三菱UFJ銀行、三井住友銀行、りそな銀行

主要(都市ガス)供給先 河内長野市役所、大阪南医療センター、日本農薬(株)、モリ工業(株)、NTN(株)

主要(プロパンガス)納入先 (株)ダイドー、大阪安全衛生教育センター、大和開発観光(株)、
社会福祉法人 生登福祉会

主要仕入先 大阪ガス(株)、(株)ノーリツ、リンナイ(株)、TOTO(株)、クリナップ(株)、タカラスタンダード(株)、
パナソニック(株)、(株)LIXIL、岩谷産業(株)、シナネン(株)、伊丹産業(株)

許認可等 建設業 大阪府知事許可(般-29)第142445号
 二級建築士事務所 大阪府知事登録(い)第9624号
 河内長野市排水設備工事指定業者 第376号
 河内長野市給水装置工事事業者 第0082号
 液化石油ガス(LP)販売許可 27B第1701号
 液化石油ガス保安機関認定番号 27A1001RA
 大阪府住宅リフォームマイスター事業者登録

沿革(河内長野ガス株式会社)

1961年 9月	設 立
1962年 7月	事業開始、需要家件数172件
1973年 2月	需要家件数 5,000件
1979年 11月	長野配管株式会社を設立
1985年 1月	リビングセンター(旧社屋)竣工
4月	需要家件数10,000件
11月	長野配管株式会社がリフォーム事業開始
1988年 11月	長野配管株式会社が株式会社リビングセンター長野に商号変更
1990年 4月	株式会社リビングセンター長野が液化石油ガス販売事業開始
1991年 1月	ブタンエアーガス6Aから天然ガス13Aへ熱量変更作業開始
3月	全戸 天然ガス13Aへ熱量変更完了
9月	需要家件数 15,000件
1994年 2月	リビングセンター(旧社屋)増築竣工
1996年 9月	需要家件数 20,000件
12月	供給管理センター棟(現倉庫資材棟)竣工
2014年 2月	エネルギーマネジメント規格 ISO50001 認証取得(2019年3月 認証返上)
5月	現社屋(災害時支援施設)竣工
2016年 7月	小口電力(KGでんき)販売開始
2022年 10月	株式会社リビングセンター長野から液化石油ガス販売事業、リフォーム事業を移管
2023年 3月	需要家件数(都市ガスメーター取り付け数) 24,995件 需要家件数(液化石油ガスメーター取り付け数) 973件



リビングセンター(旧社屋)



供給管理センター棟(現倉庫資材棟)

都市ガスの供給区域

河内長野ガス託送供給約款／別表に定める払出エリア



供給エリア内都市ガス導管網

(m)

	2022年3月末 ()内は対前年増減	2021年3月末	2020年3月末
中圧A	374 (0)	374	374
中圧B	25,022 (401)	24,621	24,515
低圧本管	94,530 (360)	94,170	93,269
低圧支管	147,653 (825)	146,828	145,974

II Top Message

社長メッセージ

平素から、河内長野ガスに格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この程、河内長野ガスのCSR（企業の社会的責任）活動報告として7冊目にあたるCSRレポート2023を作成いたしました。是非、ご一読くださいますようお願い申し上げます。

2022年はロシアのウクライナ侵攻、世界的な資源・エネルギー価格の高騰が相次ぐ等、経済の先行きが不透明な状況が続いています。一方、2020年より続いていた新型コロナウイルス感染症との戦いから新たな日常の定着に向かい、河内長野ガスの事業活動においても、全社を挙げた秋のガス展を開催したり、小学校への出前授業を再開する等、コロナ前の活動状況に戻りつつあります。

このように世の中が大きく動いた2022年は、河内長野ガスにとっても大きな転換期となりました。同年7月3日に創業60周年を迎えた河内長野ガスは、10月1日、グループ会社で運営していた、液化石油ガス販売事業とリフォーム事業を都市ガス事業と一体化しました。今後、都市ガス・液化石油ガス・リフォームの3つの事業を掛け合わせ、地域のお客さまへ安心・安全で、より快適な生活をご提供できるよう取り組んで参ります。また、脱炭素社会への流れは加速しつつあり、河内長野ガスは行政と連携する等、その実現に貢献して参ります。

CSRレポートを通じ、少しでも河内長野ガスの取り組みを知っていただけますと幸いです。引き続き皆さまのご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2023年6月吉日



河内長野ガス株式会社
代表取締役社長

吉田 顕

III

河内長野ガスグループの CSR活動に関する考え方

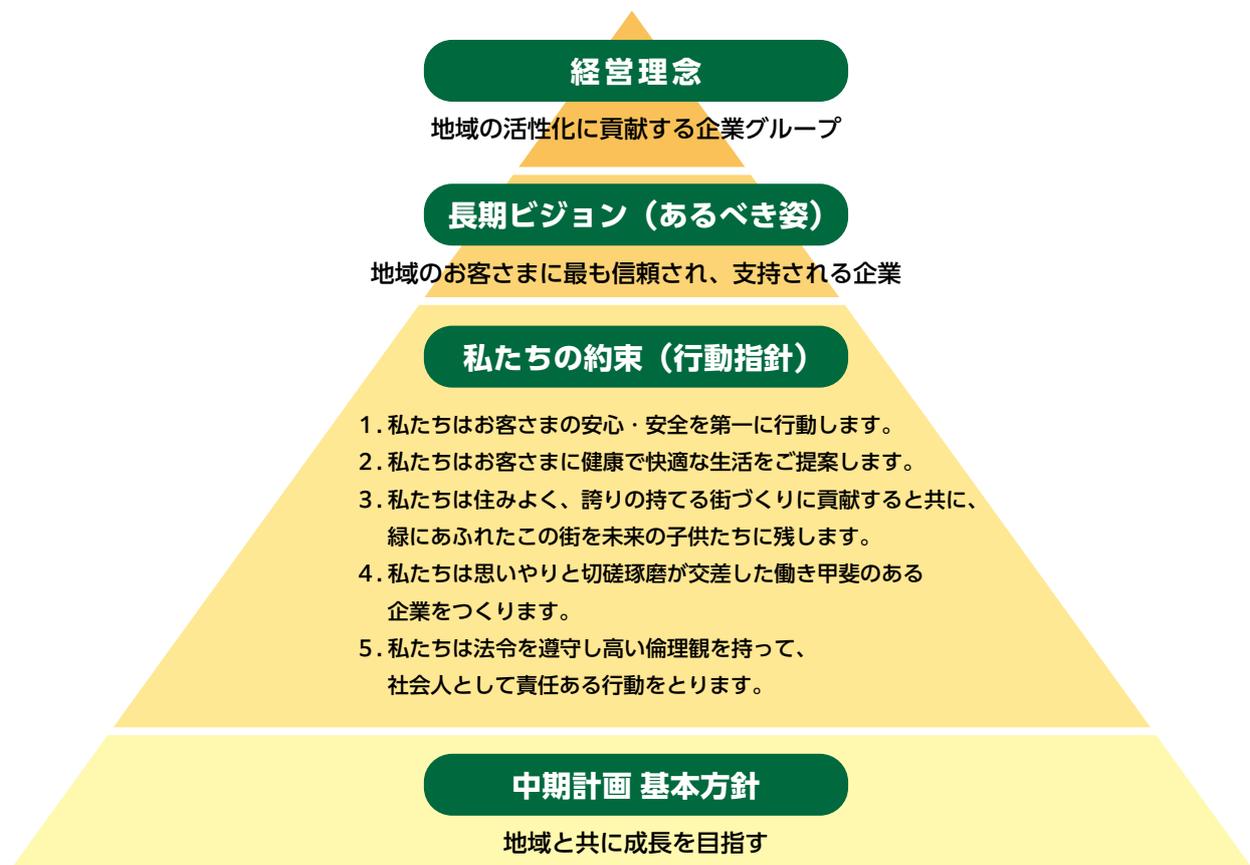
1 河内長野ガスグループのCSR活動に関する考え方について

河内長野ガスグループは、「地域の活性化に貢献する企業グループ」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的かつ安心して安全にお使いいただくこと、リフォーム事業を通じて健康で快適な住まいを提案していくことを通じ、企業としての社会的責任を全うし、SDGsの達成とあわせて地域のために貢献して参ります。

河内長野ガス従業員の大事な行動指針である「私たちの約束」は、持続可能な社会の実現を目指し、地域の皆さまとの信頼関係を築いていくための指針となっています。

これからも河内長野ガスグループはお客様・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼されるために、コンプライアンスを一層徹底し、選択される企業グループであり続けたいと考えています。

(1) 経営理念体系

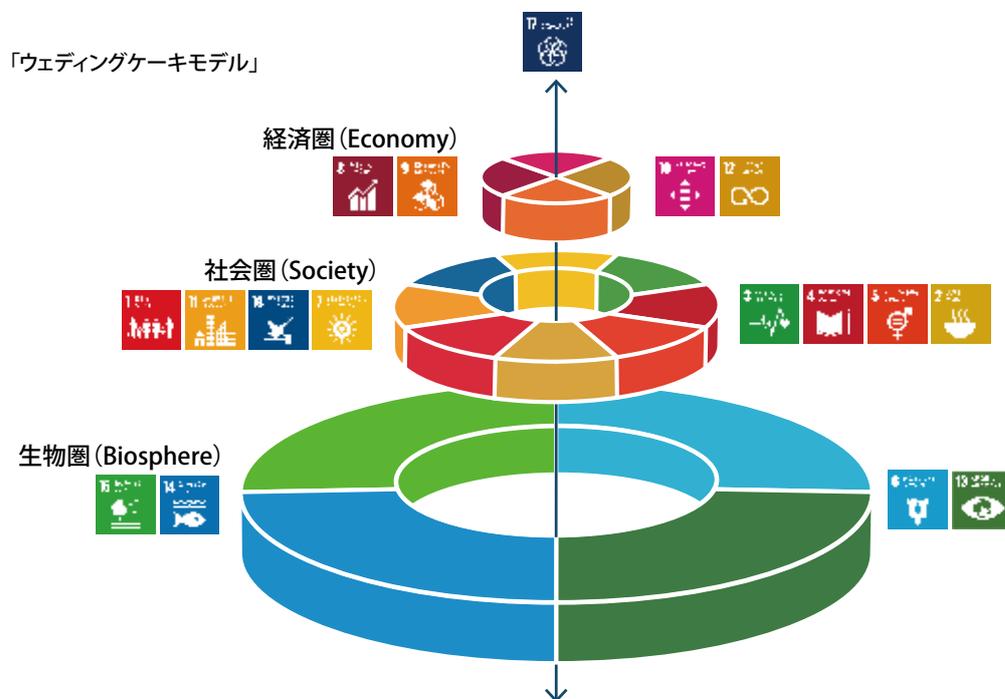


2023 年度 スローガン

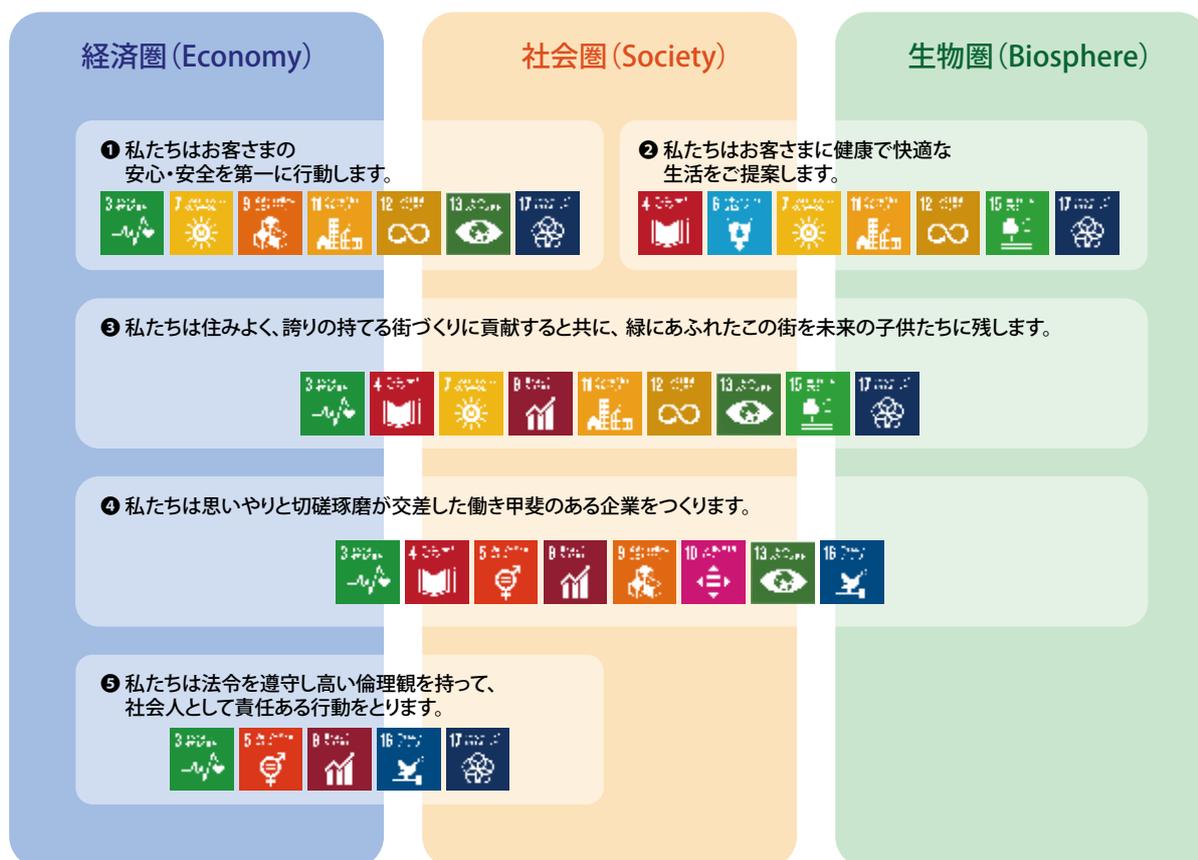
連携・環境変化への対応・挑戦

(2) 河内長野ガスのSDGsの取り組みについて

河内長野ガスは持続可能な開発の三側面、経済・社会・環境におけるSDGsの考え方を図式化した「ウェディングケーキモデル」に照らして取り組んでいます。図のように、「ウェディングケーキ」のような形をして下から順に「生物圏 (Biosphere)」・「社会圏 (Society)」・「経済圏 (Economy)」という3層構造となっており、下層2段は、中心部が空洞のドーナツ型で、環境なくして社会は成り立たず、社会なくして経済の発展はないということを表わしています。



●私たちの約束 (行動指針) と「ウェディングケーキモデル」の相関性

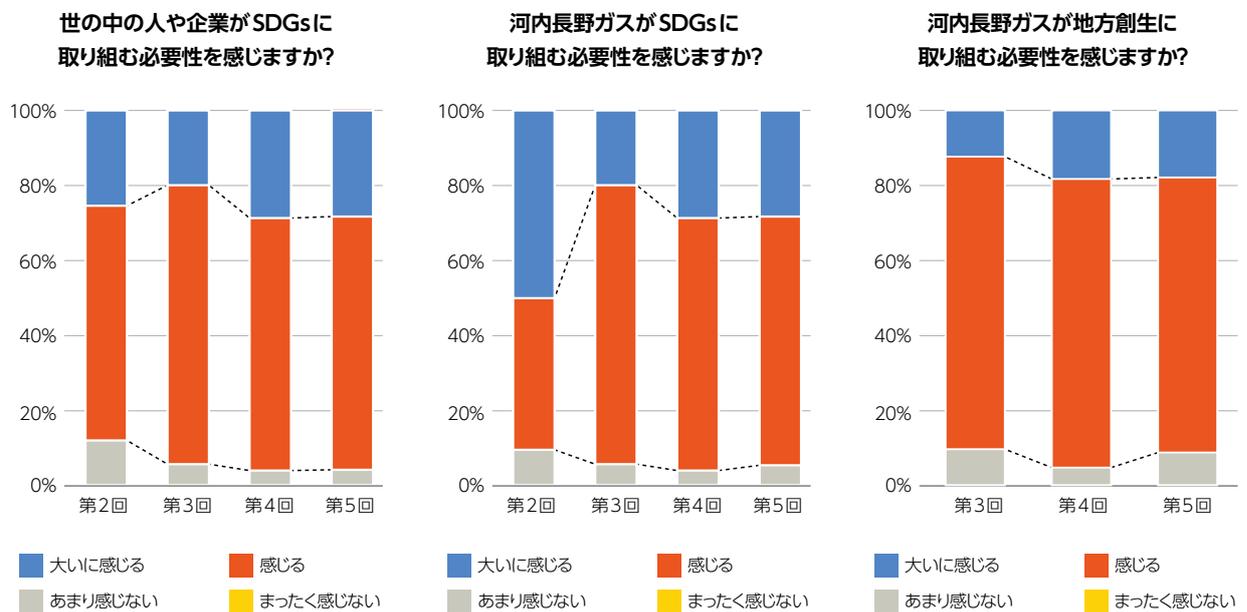


(3) CSR活動とSDGs

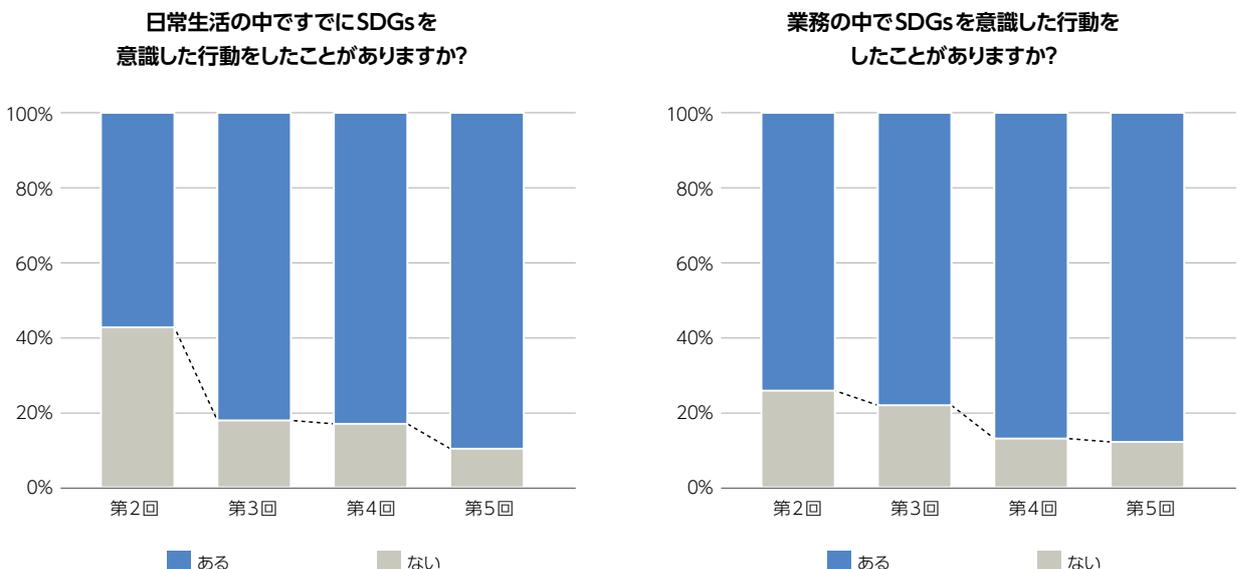
少子高齢化による人口減少等の多くの地域課題を抱える河内長野市を事業基盤とする河内長野ガスにとって、地域課題の解決のため、事業活動や地域貢献活動をSDGsの視点で取り組んでいくことが必須であると考え、河内長野ガスは2020年度から2022年度までの3年間、SDGsを全従業員に啓発する横断的組織であるSDGs部会を立ち上げ、取り組んできました。河内長野ガスでは、定期的に従業員（役員含む）に対してSDGsアンケートを実施し、従業員（役員含む）のSDGsへの意識調査をしています。

●河内長野ガス従業員（役員含む）対象SDGsアンケート結果

河内長野ガスは、過去5回、従業員（役員含む）に対してSDGsへの取り組み意識を調査するアンケートを行いました。



マスコミ等でSDGsが取り上げられ、SDGsへの取り組みが当然となってきた背景もあり、必要性を感じる従業員（役員含む）の割合は高い。



アンケートの回を重ねるごとに、日常生活や業務の中でSDGsを意識した行動をしていない従業員（役員含む）の割合が減少していることからSDGsへの意識の高まりが明らかになった。

IV Topics

トピックス

1 Topics

2022年度の河内長野ガスのトピックスについて紹介します。

(1) 創業60周年

2022年7月、河内長野ガスは、この河内長野の地で創業して以来、地域の皆さまに支えられ60周年を迎えることができました。河内長野ガスが事業を続けることができたのは、地域の皆さまへの都市ガスの供給やガス機器の販売等を通じて築いた信頼関係が大きな要因と考えております。これからも河内長野ガスは、地域の皆さまの期待に応えると共に、地域の発展のために日々活動をして参ります。

1962年創業当時の社屋風景



河内長野市の当時の人口は約3万6000人ほどで、会社周辺の道路も舗装されていないところが多かったです。写真奥に見えるのはキックスの前にあった旧市民会館の建設現場です。以降河内長野市への都市ガスの普及にあわせて街の開発もすみ、急速な発展を遂げていきました。

1991年 13A天然ガスへの転換



創業からの約30年間は、ブタン系の原料をもとにした6Aというガスを構内の設備で製造し供給しておりました。より高カロリーで安全性、安定性、環境性に優れた天然ガスへの転換は河内長野ガスの悲願でありました。

天然ガス転換により、不要となった製造設備は順次撤去され、河内長野ガス構内の整備も促進されました。

1995年阪神淡路大震災の復旧活動支援



阪神淡路大震災の際、河内長野ガスのガス設備は幸い大きな損壊を免れました。一方で、特に被害の大きかった神戸市やその周辺地域に復旧支援を行うため、従業員を派遣しました。その時に経験したことは河内長野ガスの防災、地震対策の基礎となっています。

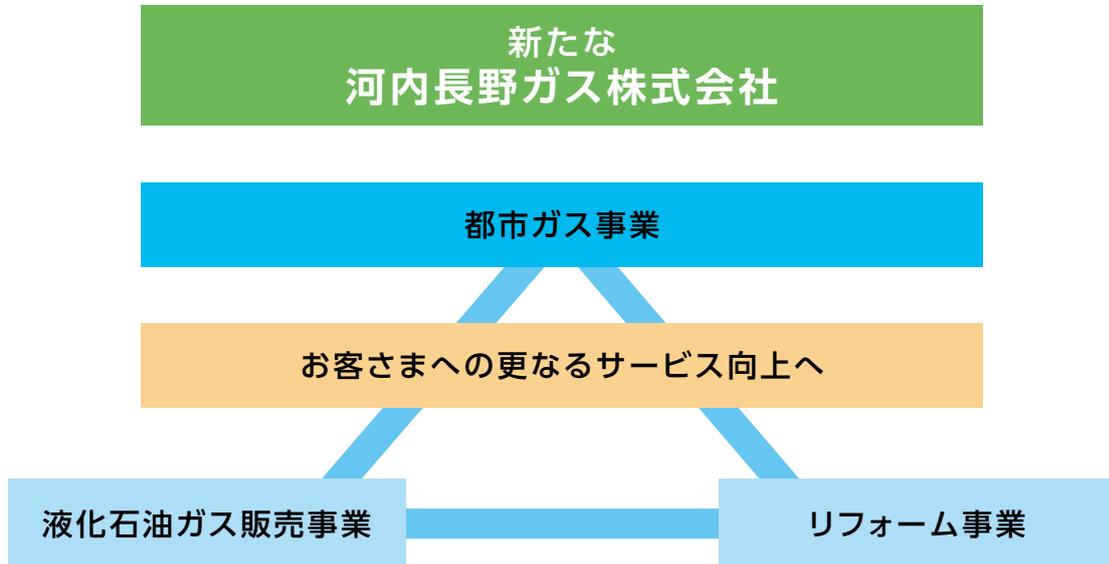
創業から現在までの歴代ショールーム建物



ガス機器に加え、リフォーム商材等を幅広く取り扱うのにあわせてお客さま窓口となるショールーム等の建物も徐々に大きくなっていきました。現在の社屋は、地域の防災、災害時支援機能も加えた、より進化した建物となっています。

(2) グループ事業の一体化でお客さまへのサービス向上へ

2022年10月1日、河内長野ガスは、3つの事業（都市ガス・液化石油ガス・リフォーム）の一体運営を開始しました。横断的な風通しの良い社内環境を整備しつつ、一層の連携と一体化を図り、お客さま志向を徹底してサービスの更なる向上を目指して参ります。



(3) 2022年11月1日、ショールームが新しく生まれ変わりました

お客さまにより快適な生活を提案し、お客さまがお寛ぎいただける空間を作るため、ショールームをリニューアル致しました。

ガスビルトインコンロやガス給湯器等のガス機器からシステムキッチンやシステムバス等のリフォーム商材まで展示した空間となっております。お客さまお一人お一人に合った提案をさせていただきます。



リニューアルしたショールーム

(4) 河内長野市との温室効果ガス排出量削減に向けた連携協定の締結について ～河内長野ガス・河内長野市・大阪ガス・関西電力の4者協定書の締結～

2023年2月、河内長野ガスは、河内長野市、大阪ガス及び関西電力と、河内長野市域における温室効果ガス排出量削減に向けた事業の実施に連携・協働して取り組む協定を締結しました。

河内長野ガス、河内長野市、大阪ガス、関西電力は、相互に連携・協働し、河内長野市域内における温室効果ガス排出量削減に向けた取り組みを推進してきましたが、この度の協定により、今後もより密接に連携・協働して、河内長野市が掲げる「2050年のゼロカーボンシティの実現」を目指して参ります。



(5) 河内長野ガスのアフターコロナについて

河内長野ガスは、コロナ禍の状況下において、感染症の拡大防止に向けた取り組みを下記の通り、実施して参りましたが、政府の方針を受け、2023年4月1日以降、お客さま宅訪問時のマスクの着用は継続しつつ、事務所内でのマスクの着用は各従業員の任意とする等、緩和の方向で進めています。

【取り組み一覧】

- お客さま宅訪問業務について
 - ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
 - ・ご了承を得た上での最小限の室内立ち入り 等
- 事務所等の感染拡大防止について
 - ・マスクの着用・手指のアルコール消毒
 - ・従業員及びお越しになる取引先さまの検温
 - ・執務場所や会議での適切な人と人との距離を確保 等



V 安心・安全への取り組み

私たちの約束1

私たちは、お客さまの安心・安全を第一に行動します。



1 保安体制について

私たちは、都市ガス・プロパンガスを供給する企業として、お客さまの安心・安全に向けた取り組みをしています。

(1) 保安体制について

① 安心・安全の保安体制 (365日・24時間の緊急出動体制)

私たちは、お客さまや消防・警察からの通報(ガス漏れや火災等)に備えて365日・24時間の緊急出動体制を整えています。



緊急車

② 都市ガスの安定供給と監視システム

お客さまに安定してガスをお届けするために、都市ガスの受入設備や供給区域内に17カ所ある地区整圧器のガスの圧力や流量を通信システム(テレメーター)で常に監視しています。異常があれば警報が発報し、迅速な対応を行い、安定供給に努めています。



供給管理室

【保安業務に従事する女性従業員】

河内長野ガスでは、従来、保安業務は、男性従業員が中心となり従事していましたが、2022年度以降、女性従業員も含めた全従業員が一丸となって、各種の保安業務に取り組んで参ります。



保安業務に初めて携わった時はとても緊張したことを覚えています。ガスメーターが遮断して、ガスが出なくなったお客さまのお宅を緊急車に乗って出動し、先輩社員に教えていただきながら、対応しました。宿直業務も回を重ねることにどんどん慣れてきました。お客さまの安心・安全のため、これまでやったことがない業務にも事前の研修を経て、どんどんチャレンジしていきたいです。

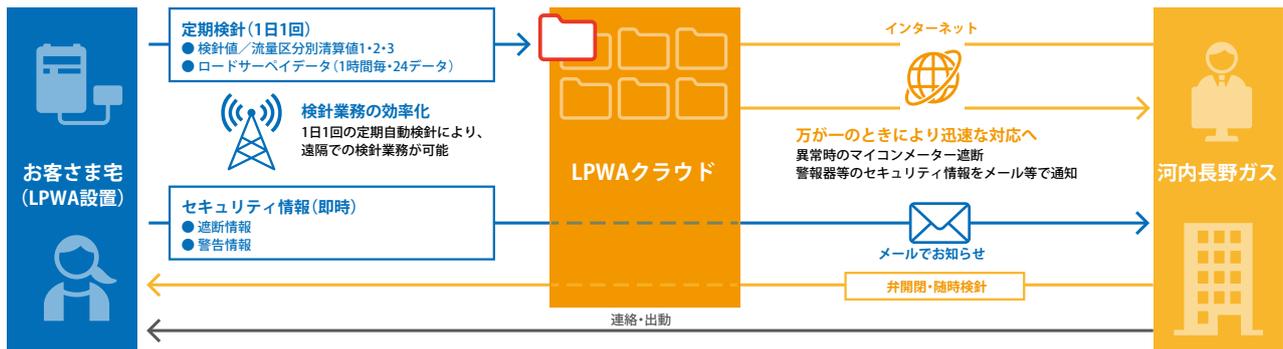
小売事業部 開発チーム 東 結菜

③ 遠隔監視システム (LPWA^{*}) の普及拡大

河内長野ガスでは、お客さまへの更なる安心安全をお届けするため、2020年度よりプロパンガスをご利用のお客さま宅に遠隔監視システム (LPWA) の設置を始め、2021年度には普及率54.7%、2022年度には普及率76.2%に達しました。普及率が70%を超えたことにより、2022年12月22日にプロパンガスの保安の高度化に積極的に取り組んでいる事業者認定される「ゴールド保安認定事業者 (第一号認定液化石油ガス販売事業者)」の認定を受けることができました。今後も保安レベルの向上のため、普及率の拡大を目指して参ります。

※ LPWAとは「LowPowerWideArea」の略で「長距離のデータ通信」「低消費電力」という2つの特徴を満たしている無線通信技術を用い、河内長野ガスからの遠隔操作により検針・緊急時のガスの停止等が行えるシステムです。

● LPWAのイメージ図



④ ガス導管の維持管理

お客さまに安全にガスをお届けするため、定期的にガス導管のガス漏れ調査や、各種ガス設備の点検を行っています。

また、他工事 (水道、下水、電気、電話工事等) によるガス管の破損防止のため、他工事業者との事前の協議や工事現場での立会・パトロール等を行っています。



カート式ガス検知器による
ガス漏れ調査

⑤ ガス導管の延伸・都市ガスの普及

私たちは、1件でも多くのお客さまに安定して都市ガスをお使いいただけるように導管計画、供給管理計画のマスタープランを策定し、その計画に基づいて、ガス導管の延伸を行い、都市ガスの普及に努めています。

【河内長野ガスが進める計画的な導管工事】

- ・経年導管の入替実施
- ・計画導管延伸の実施
- ・供給安定化のための計画工事の実施

(2) お客様が安心・安全にガスをご利用いただくために

① ガス警報器・CO警報器の取り付け意義と取り付け状況

ガス漏れ事故のほとんどは、「ガスを消したつもり」「ガス栓を閉めたつもり」「すぐにもどるつもり」等「うっかりミス」が原因となっています。ガス警報器を正しく設置していれば適切に作動して、人のうっかりミスによる事故の防止につながります。

河内長野ガスは、ガス漏れ事故を未然に防ぐため、ガス警報器の取り付けを推奨しています。店舗等のガスの使用量が多いお客さまには、ガス警報器だけではなく、COによる中毒事故を防止するCO警報器の取り付けも提案しています。

ガス警報器は、火災警報機能付きタイプもあり、ガス漏れだけではなく、火災による被害拡大の防止にも役立っています。

さらに、2020年度から電池式タイプのガス警報器も導入し、電気のコンセントがなく、ガス警報器の取り付けが難しかったお客さまに対しても提案できるようになりました。電池式タイプのガス警報器なら災害時に停電しても稼働するのでとても安心です。

●ガス警報器新規取り付け台数

年度	都市ガス用警報器		プロパンガス用警報器	
	台数	普及率	台数	普及率
2022年度	311	39.77%	57	77.80%
2021年度	339	39.33%	57	77.10%
2020年度	402	38.92%	46	77.70%

●都市ガス用

電源式タイプ



YP-776
(壁取り付け用)



XW-225G
(天井取り付け用)

電池式タイプ



MC-325
(壁取り付け用)

●プロパンガス用

電源式タイプ



APH-40N
(単体型)



APH-32SV
(運動型)

② ガス設備法定点検

河内長野ガスでは、ガス事業法に基づき、4年に1度、お客さまがガス設備を安全にご使用いただけるように、ガス事業者が義務付けられたガス設備法定点検を実施しています。

ガス事故を未然に防止し、お客さまの身体と資産を守るため、お客さまにおかれましては、ガス設備法定点検の際にはご協力いただきますよう、お願いします。

●ガス設備法定点検実施件数

(件)

	都市ガス	プロパンガス
2022年度	4,949	137
2021年度	5,369	220
2020年度	4,628	242



点検の様子



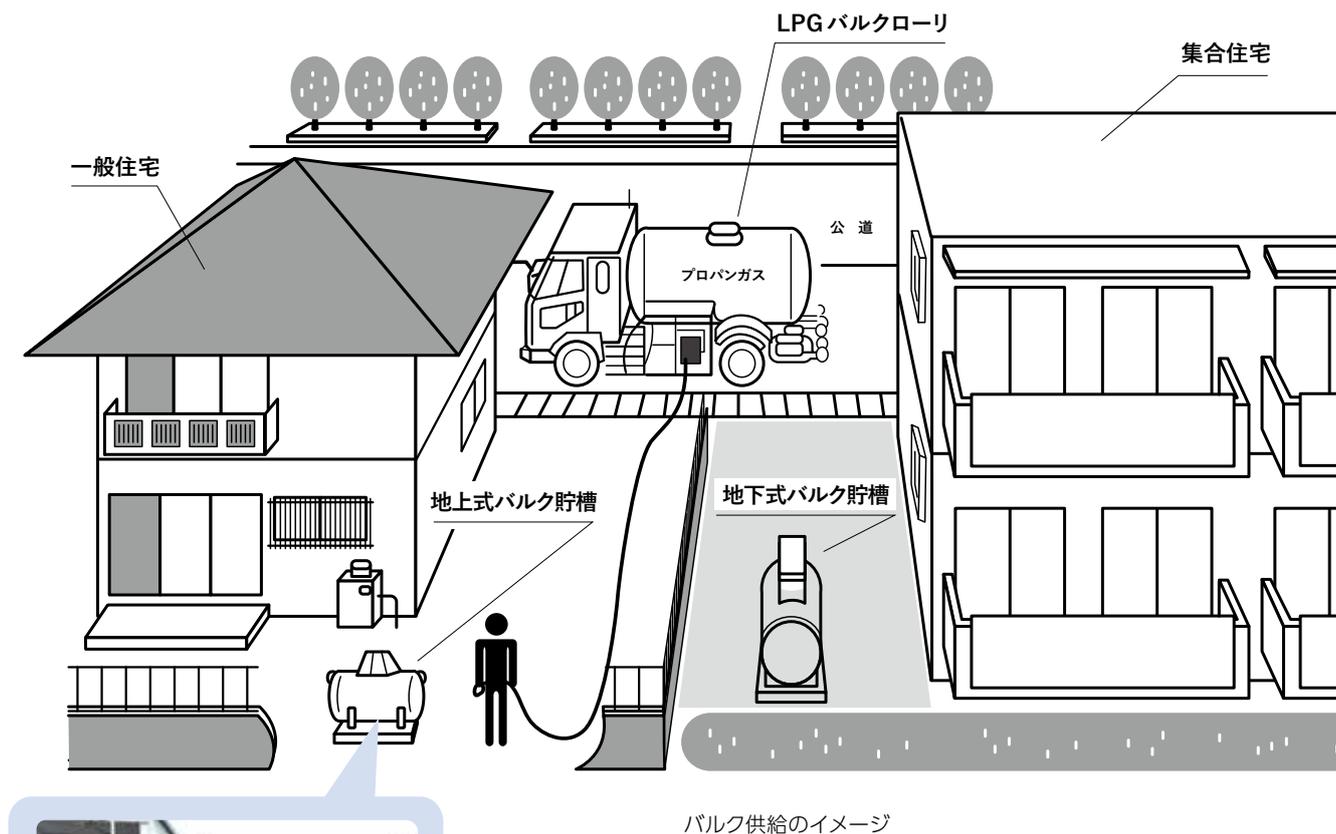
あんしん基礎ガイド(安全周知書面)



③ プロパンガスのバルク供給について

バルク供給方式とは、従来の容器交換方式ではなく、集合住宅、業務用等に設置されたバルク貯槽に、バルクローリーで直接プロパンガスを充てんする供給方式です。

従来のガス充てん容器のように、プロパンガス容器とガスホースのつなぎ替えをする必要がなくなり、人為的ミスの防止や、また地面への固定による転倒防止等保安面の向上という利点もあります。河内長野ガスのバルク供給方式によるガスの供給は20数年の実績があり、バルク貯槽は製造後20年が経過すると告示検査を行うか、くず化を行うよう液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律で定められています。河内長野ガスでは20年を経過する前に新たなバルク貯槽の入替を実施しており、今後もお客さまに更なる安心・安全をお届けできるよう努めて参ります。



バルク貯槽

④ ガス工事の品質確保と施工体制の充実

お客さまの敷地内に設置されるガス管の工事(内管工事)は、ガス工作物としてガス事業法に定める技術上の基準に適合する必要があるため、ガス事業者である河内長野ガスあるいはその指定工事店が施工しております。

河内長野ガスは、これからも継続して安全で品質の高い内管工事を提供することによりお客さまに安心してガスをご使用いただくため、実際に工事を行う施工者の施工技量について標準化に努めています。また指定工事店制度や簡易内管施工登録店制度を活用し内管工事の施工体制の充実を図っています。

2 防災についての取り組み

私たちは、災害の発生に備え、河内長野市と協力関係を築く等様々な対策を実施しています。

(1) 河内長野市との防災協定

河内長野ガスは、2014年の社屋の建て替えにあたり、産官民協働で平常時から「地域力」を活かす災害支援拠点づくりを目的として、2012年5月に河内長野市と「災害時等における支援協力に関する協定」(防災協定)を締結しました。この協定は、元神戸大学 紅谷特命准教授を座長に招聘し、河内長野市、長野小学校区まちづくり会議、河内長野市社会福祉協議会、市民公益活動支援センターで構成される勉強会を経て、「災害時等における支援協力に関する細目協定」(細目協定)として具体化されました。平常時は、社屋の一部施設を地域ネットワークづくりや地域防災力の向上のために提供し、災害時は、河内長野市からの要請を受け、可能な限り、「災害時支援施設」であるショールームや災害ベンチ、災害時簡易トイレ(マンホールトイレ)等の設備を被災者の支援を行う市の職員やボランティアの方々に活用していただきます。

2022年11月にショールームを改装したことを機会に、河内長野市と新たに協力体制の見直しを図り、今後、河内長野市と河内長野ガス双方の希望・実態に沿った内容に見直しを参ります。

●災害時支援施設

①電気・都市ガス代替設備

災害時に電気・都市ガスの供給がストップしてもプロパンガスによる代替ガスで非常用電力の発電が可能

②マンホールトイレ

トイレ問題を解決し支援活動をサポート



マンホールトイレ

③駐車場

支援を行う方々の前進基地として駐車場の一部を提供

④ショールームやセミナー室

支援者の待機場所として提供

⑤井戸

ろ過装置と併せて使えば飲料水になる



井戸

⑥災害ベンチ(かまどベンチ)

災害時にはかまどになるベンチで炊き出しが可能



災害ベンチ(かまどベンチ)

(2) 地震・災害への対策

昨今激甚化している地震・災害に対するより一層のレジリエンス(回復力、復元力)の向上を目指して、さまざまな安全対策を講じています。

① 耐震性に優れたガス導管の採用

道路に埋設されている低圧ガス導管は、大規模地震による被害を最小限にとどめるために、耐震性に優れたポリエチレン管等を採用しています。

河内長野ガス耐震化率	99.7%	2022年度末実績
全国平均耐震化率	91.5%	2022年度末実績

耐震化率(%) = 耐震性に優れたガス導管の延長 / ガス導管の総延長

ポリエチレン管の特性として以下のようなことが挙げられます。

- ・金属ではないため、腐食する心配が無い
- ・軽量で可とう性に優れ、施工が容易である



ポリエチレン管への取替作業

② 緊急体制

供給区域内で震度5弱以上の地震や台風・豪雨等による災害が発生した場合は、休日・夜間に関わらず対策組織を構築し対応します。

③ 地震発生時の緊急対策

大規模な地震により被害が発生した場合は、河内長野ガスの保安規程に定める地震災害対策要領に基づき、対策本部を設置して情報を収集・集約し、迅速かつ適切な措置を実施します。地震の規模によっては、二次災害の防止のため、お客さま宅へのガス供給を停止することがあります。

河内長野ガスでは、ガス供給を停止した場合においても、停止範囲の制限や素早い復旧作業に取り掛かれるよう供給区域のブロック化を行っています。



ブロック化された供給区域

④ 教育・訓練

河内長野市が大きな被害を受けると想定される地震災害や近年被害が甚大化している台風豪雨等の異常気象に備えて、各種要領書の整備や全従業員による訓練を実施しています。

また、実際に災害が発生した際のために、経済産業省や日本ガス協会への報告ツールや日本ガス協会による全国のガス事業者の相互応援体制が整備されており、毎年それらの報告ツールを用いた情報連絡訓練を実施しています。

また、休日・夜間を含めた保安体制を充実するため、保安関連部署以外の従業員に対しても計画的に保安教育を実施しています。

●実技教育の様子



実技教育の様子

⑤ 災害時に強いプロパンガス

プロパンガスは、ガスが充てんされた容器を各家庭に届ける分散型エネルギーです。これにより配管等供給設備の点検も短時間で済み、異常があった場合でも迅速に復旧することができます。

プロパンガス容器は、1本を予備用として2本設置、常に予備が1本あるので災害時にも役立ちます。

VI 快適な生活をご提案

私たちの約束2

私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。



1 快適な生活をご提案

(1) お客さまの生活を快適にするリフォームのご提案

1985年11月より、リフォーム事業を開始し、地域の皆さまに寄り添い、質の高い生活のご提案をして参りました。

そして2022年10月、「河内長野ガス クラッシモリフォーム」に生まれ変わり、都市ガス事業等との一体運営を開始しました。

地域密着を大切に考え、河内長野市、富田林市、大阪狭山市を中心に、これまで以上に地域の皆さまに近い存在として、お客さまのご要望を詳細にお伺いし、これからもずっと住み続けたいと思える、快適で安心できる空間造りを提供して参ります。

河内長野ガスでは、お客さまの新しい暮らしを形にするため、有資格者のプランナーが丁寧なヒアリングを行い、図面やイメージパースを用いたご提案をもとに、入念な打ち合わせを行った後、経験豊富な工務担当者を中心に工事を進めて参ります。また、リフォーム後も心地よく暮らして頂けるよう地元ならではのアフターサービスもご好評を頂いております。様々な専門分野を持つ河内長野ガスだからこそその信頼と実績でお客さまのご要望にお応え致します。(2023年3月末現在 延べ施工実績件数17,849件)



新しいロゴマーク



施工事例

過去の受賞歴

2018年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2018	クリナップ賞
2019年12月	ジェルコリフォームコンテスト2019 近畿大会	ベストリフォーム賞
2020年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2020	プラチナ賞
2021年11月	クリナップリフォーム 水まわり工房 スタートダッシュコンテスト2021	プラチナ賞

(2) 省エネ設備の普及拡大へ

省エネ設備には、節水型トイレ・節水シャワー・エコシングル水栓や内窓設置・断熱改修等が挙げられます。これらの商品を使用して頂くことで節水・省エネになり家計の経済面をサポートするとともに、環境への負荷の低減につながります。

① 省エネ設備の普及の意義

地球に様々な影響を与える温室効果ガス(CO₂)の発生を抑制するため、クラッシモリフォームは、省エネ設備を提案しています。一人でも多くの方が省エネ設備を採用いただくことで、温暖化防止とお客さまの健康で快適な生活を支えていきたいと考えています。

② 河内長野ガスが提案する省エネ設備

●節水型トイレ

従来のトイレは1回流す毎に約13ℓの水を流していました。最新のトイレに入れ替えると使用する水の量は約5ℓとなり、8ℓもの節水になります。また、フチのないものや表面加工により、お手入れも楽になります。



●節水シャワー

シャワーヘッドの穴を小さくしたり、穴の数を少なくしたりといった仕組みで、通常よりも水の使用量を減らすものや、水に空気を含ませることで水の一粒一粒を大粒化させるもの等があり、従来のシャワーに比べて約35%の節水ができます。



省エネ設備(節水型トイレ) 販売台数 (台)

	節水型トイレ
2022年度	98
2021年度	68
2020年度	63

●省エネレバー水栓

従来のシングルレバー混合栓では湯水混合だったレバー中央部を、水の吐水域に設定。無意識にレバーを操作して、知らずにガス給湯器が作動するムダを防ぎます。さらに、水と湯の境にクリック感を作り、水と湯を意識して使い分けできる構造によって約20%のガスの節約になります。

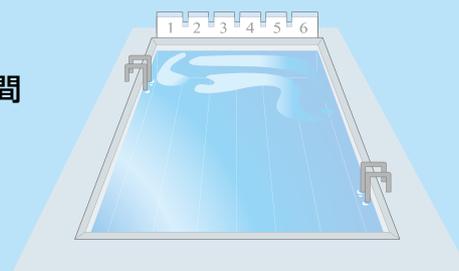


●内窓設置・断熱改修

内窓設置で室外と室内をしっかりと隔てる構造になるため、大きな断熱効果となります。外気温の影響を受けにくくなり、結露の発生を大幅に抑えることができ、冷暖房効率が上がるため電気代が節約できます。また、窓ガラスの枚数が増えることで防音効果も得られます。



河内長野ガスは、節水型トイレ（便器）の販売を通じて、年間502万ℓの節水に貢献できました。これは、25mプール10.4杯分に相当します。



(3) 耐震診断・耐震補強リフォーム

2000年以前に建てられた建物は、現在の耐震基準を満たしていない可能性があります。耐震補強リフォームをすることで引き続き安心して居住いただけます。

耐震リフォームは、柱や梁自体を補強する方法、壁自体を耐力壁として補強する方法、耐震金物を使って補強する方法、屋根を軽くする方法等いろいろな方法があり、耐震診断はこれらの中から適切な補強方法を決めるために行うものです。きっちりと診断する事で、最適な補強方法をご提案します。

① 耐震診断

耐震診断ソフト:ホームズ君「耐震診断Pro」を使って診断を致します。この診断ソフトウェアは財団法人日本建築防災協会が認定しているプログラムで、全国の自治体や建築士団体が利用しており、診断結果は非常に信頼度の高いものです。

② 耐震補強 屋根の軽量化

重い屋根材は建物に負担がかかり、それを支える力が必要です。軽量で、丈夫な屋根材に取り替えることで耐震性を高めます。



③ 耐震補強 壁の補強

壁の補強をすることで、地震力を壁に負担させ揺れにくくすることが出来ます。耐震改修パネルは天井、床はそのまま壁の補強をすることができます。



④ 耐震補強 金物の補強

木材の抜けを防ぐために強度不足の接合部を耐震金物で補強します。



⑤ 耐震補強 基礎の補強

20年以上前の基礎は無筋コンクリートで施工されている場合があります。鉄筋を入れた布基礎やべた基礎に比べ強度が不足がちです。このような基礎は鉄筋の基礎を増し打ちする方法と炭素繊維シートで補強する方法等があります。また、クラックの入った所にはエポキシ樹脂を注入し補修します。



2 ガス機器を通じた快適な暮らしのご提案

河内長野ガスは、お客さまの生活を快適にするガス機器のご提案をしています。エネルギーを使う生活から、つくる・トクする生活を実現する「エネファーム」をはじめ、寒い冬を快適に過ごすことができるガス床暖房やガスファンヒーター、毎日のお料理を楽しくするガラストップコンロ、ガスのパワーで短時間で衣類を乾燥させるガス衣類乾燥機まで、幅広いラインナップをご用意しています。

また、電気とガスのセットでおトクになるガス料金メニュー等を提案し、お客さまの経済面もサポートいたします。



ガス衣類乾燥機

コロナ禍において、ウイルスに対しての関心が高まる中、ガス衣類乾燥機は、除菌・抗ウイルスの効果があります。また、洗濯物が乾きにくい雨の日や冬の寒い日でも短時間でからっと乾燥し、天日干しが不要なので、花粉の季節や黄砂、PM2.5等の大気汚染が気になる日も安心です。長年多くの方に愛用されています。



最新型ガラストップコンロ



ガス温水床暖房



ガスファンヒーター

(1) 環境にやさしいエネファーム、エコジョーズ普及拡大へ

エネファーム、エコジョーズの普及の意義

家で発電できるエネファームなら、遠方の発電所から送電される際の電力のロスがなく、発電時に生じる排熱を給湯等に使えるので、電気や熱のエネルギーの約85%~97%を利用でき、CO₂排出量を1年間に約1.3tも削減できます。(メーカー、種類により異なります。)

また、停電時には自立運転する機種もあり、いざという時も安心です。
エコジョーズは従来型のガス給湯器と比べCO₂排出量を約13%削減できます。
地球温暖化の一因となるCO₂排出量を従来に比べ大幅に削減します。



マイホーム発電
「エネファーム」

エネファームのエネルギー利用率について



●エコジョーズ、エネファームの販売台数

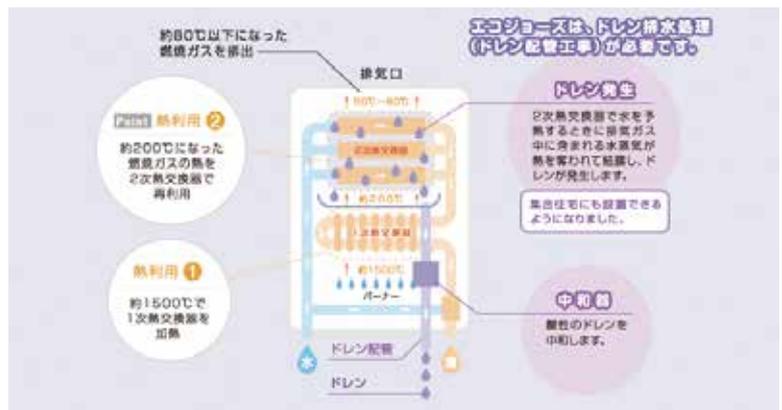
年度	エコジョーズ		エネファーム	
	台数	前年比	台数	前年比
2022年度	343	191%	32	152%
2021年度	179	79%	21	263%
2020年度	226	—	8	—

2022年度はエコジョーズの販売を通じて年間約82t・CO₂の排出を削減しました。これは、杉の木約5,900本が一年に吸収するCO₂と同じ量です。



省エネ給湯器
「エコジョーズ」

省エネ給湯器エコジョーズのしくみ



(2) CS・KGG (河内長野ガス) イノベーション部会活動

① CS・KGGイノベーション部会の目的

河内長野ガスは、2020年度に地域のお客さまとの信頼関係を築き、継続的な関係性を構築するために、サービス業務の拡充やプラスワンサービスの展開を目指して、全社横断的な組織であるCS・KGGイノベーション部会を発足させました。2021年度と2022年度はコロナ禍の状況下でもあり、活動を停止していましたが、活動再開に向けて準備を進めています。

●2023年度においてCS・KGGイノベーション部会にて実現させたいこと

- ・販売したガス機器の長期延長保証の実現
- ・お客さまからの電話受付時間の見直し
- ・リフォームとガス関連サービスの一体化に伴うお客さまへのサービス内容の具現化



お客さまのライフスタイルに合わせたリフォームの提案情報や地域のお店ガイドを「別冊 crassimoNAVI」として1冊にまとめました。



② お客さまの声の確認

河内長野ガスでは、お客さまからいただいたご意見を月ごとに集計し、役員、部会メンバーで共有し、業務に活かすようにして参りました。

しかし、近年は、コロナ禍の状況下でもあり、お客さまへのアンケートがあまりできておりませんでした。そこで、お客さまへのアンケート方法等の見直しを図り、一人でも多くのお客さまの声をいただき、業務に活かしていきたいと考えております。

3 お客様の快適な生活を支える情報発信

(1) 暮らしの情報発信基地「crassimo (クラッシモ)」

河内長野ガスショールーム「crassimo (クラッシモ)」では、最新のガス機器やキッチン、トイレ、浴室、ガスの安全機器等、お客様の安心・安全で快適な生活を支える商品を多数取り揃え、展示しています。



ショールーム「クラッシモ」館内

●カルチャースクール等の開催

ショールームの一部スペースを貸し出してカルチャースクール「クラッシモサロン」が開講され、ヨガ、書道、手芸教室等が講習されています。

お客様に気軽にご利用いただける地域に開かれたショールームを目指します。

●カルチャースクール開催実績 (回)

	クラッシモサロン
2022年度	205
2021年度	286
2020年度	191

※2020年2月から7月までは緊急事態宣言のため、クラッシモサロンは中止いたしました。

●楽しいイベントの開催

ショールームでは親子で気軽にご参加いただけるイベント（ファミリーデー等）を企画しています。残念ながら2022年度のファミリーデーは新型コロナウイルス感染拡大の影響でやむを得ず中止とさせていただきます。



(2) 豊富な情報発信ツール

河内長野ガスでは暮らしの情報誌「crassimo NAVI」を年4回発行しています。リフォームのをお客さまへのインタビューと豊富な写真による最新設備を取り入れた事例紹介や河内長野ガスのイベント情報、クラッシモサロンのご案内、ガスを安全にお使いいただくための情報、地元で話題のお洒落で美味しいお店の紹介等盛りだくさんの内容となっています。

また、ショールームのFacebookやLINE公式アカウントではお得なキャンペーンのお知らせや暮らしに役立つ様々な情報をいち早くお届けしています。ぜひお友だち登録をお願いします。



「Crassimo NAVI」



クラッシモ LINE公式アカウント



クラッシモリフォーム インスタグラム

VII

子どもたちの明るい未来のために

私たちの約束3

私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、
緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。



1 環境への取り組み

2020年10月に日本政府が「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言したことで、低・脱炭素化の動きが活発化しています。カーボンニュートラルとは、二酸化炭素(CO₂)をなくすのではなく、二酸化炭素(CO₂)の排出量と吸収量を均衡させることを意味します。また、2030年度の新たな温室効果ガスの削減目標として、「2013年度比で46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続ける」との方針が示されました。

政府の方針を受け、日本ガス協会は、2020年11月に「カーボンニュートラルチャレンジ2050」を策定し、2021年6月には同アクションプランを策定しました。これをもとに、日本各地の都市ガス事業者とともに、官民連携のプラットフォーム等の活動を通じて、自治体、地域住民、地元企業等地域のステークホルダーを繋ぐハブ機能の充実化を進めています。

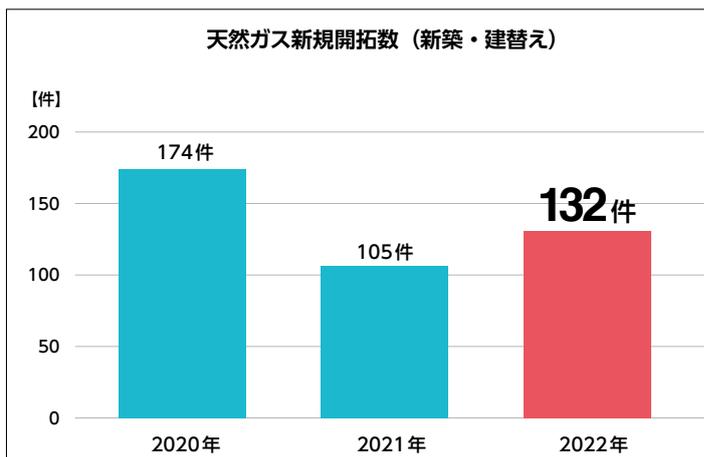
全国の都市ガス事業者は、今後、より一層、地域の分散型エネルギーの普及促進に向けた取り組み、まちづくり、低・脱炭素化、レジリエンス強化のみならず、地域内経済循環の実現を目指し、地方創生にも貢献して参ります。

河内長野ガスは、エネルギー供給会社として、環境への配慮の重要性を理解し、天然ガスの普及拡大による低炭素化を推進すると共に、本社社屋に省エネ、環境面の配慮を施す等、低・脱炭素化に向けて取り組んでいます。

(1) クリーンエネルギー天然ガスの普及拡大

河内長野ガスが供給する都市ガスの主原料である天然ガスは、燃焼時において、地球温暖化の原因物質である二酸化炭素(CO₂)の排出量が、石油や石炭に比べて少なく、また、世界各地に豊富に埋蔵されているため、安定供給しやすいという利点があります。

河内長野ガスは、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大に努めています。2022年度は、132件の新しいお客さまへ天然ガスを供給開始いたしました。



脱炭素社会と 都市ガス事業のこれから



2050年のカーボンニュートラルの実現に向かって、河内長野ガス等の都市ガス事業はどのような道をすすんでいくのでしょうか？

日本で使われるエネルギーの実に約60%が熱エネルギーであり、その中には電力等では実現できない高温の熱需要等も多くあります。また水素等のエネルギーも供給するためのインフラをあらたに構築しないといけない等の問題があります。そのため、温室効果ガス排出が少ない、天然ガスというエネルギーは、石炭や石油に代わるエネルギーとして、また再生可能エネルギーとベストミックスで用いられるエネルギーとして、これまで以上の積極的な活用が求められる状況になっています。



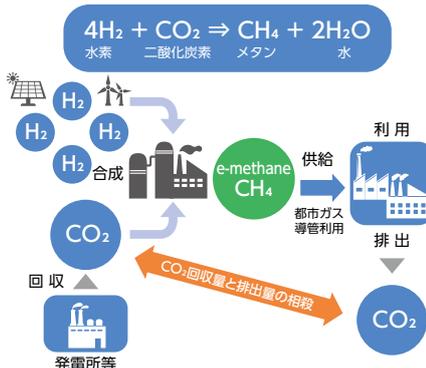
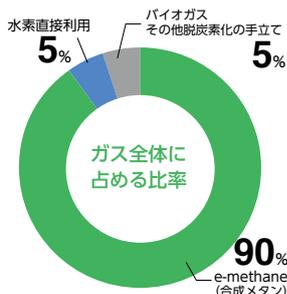
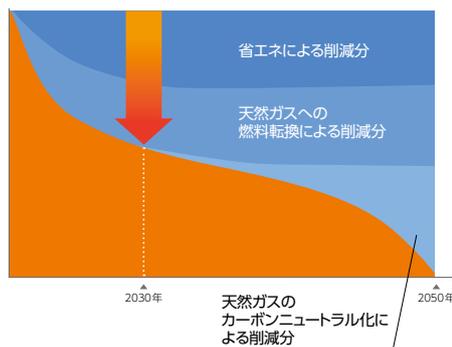
まずは、徹底した低炭素化の推進を

カーボンニュートラル時代に向けての大きなステップとして、2030年までにCO₂排出量を2013年比で46%削減するという、国の大きな目標を達成するために、私たちは徹底的な省エネ・省CO₂の取り組みを続けて参ります。

カーボンニュートラル時代の都市ガス

低炭素化を推進した後の次のステップとして、都市ガスそのものの脱炭素化の動きがあります。工場等から排出されるCO₂をリサイクルし、水と再生可能エネルギー由来の水素と組み合わせ、あらたな都市ガスを生成するメタネーションという技術で製造されたe-methane（イーメタン）です。

2050年にカーボンニュートラルが実現した際には実に都市ガス原料の約90%がe-methaneになると予想されています。



e-methane イーメタン

都市ガスの既設導管や、お客さま先のガス機器等がそのまま活用できる技術です。

(2) 省エネ・環境性に配慮した本社社屋

建築環境総合性能評価 (CASBEE) *最高Sランクを取得した本社社屋は、2014年に「コージェネ大賞」民生用部門 優秀賞、「BCAOアワード2014」企業防災部門 企業防災賞、「第8回大阪サステナブル建築賞」優秀賞を受賞いたしました。

※建築環境総合性能評価システム (CASBEE) とは、建築物の環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観への配慮等も含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

① 自家発電

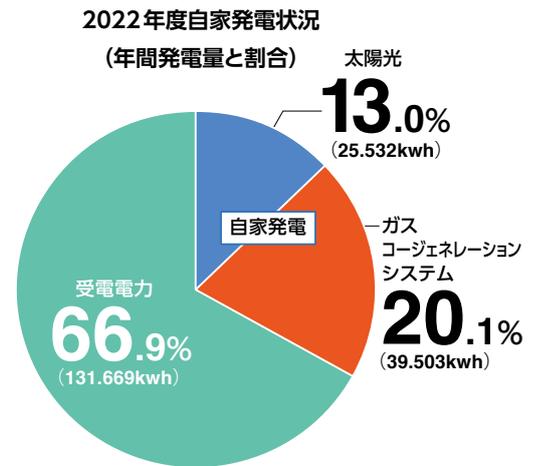
社屋屋上に20kwの太陽光パネル及び35kwのガスコージェネレーションシステム 2台を設置し、自家発電により社屋で使用する全電力の約33%をまかなっています。



太陽光パネル



ガスコージェネレーションシステム



② 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガス本社社屋は、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間になっています。



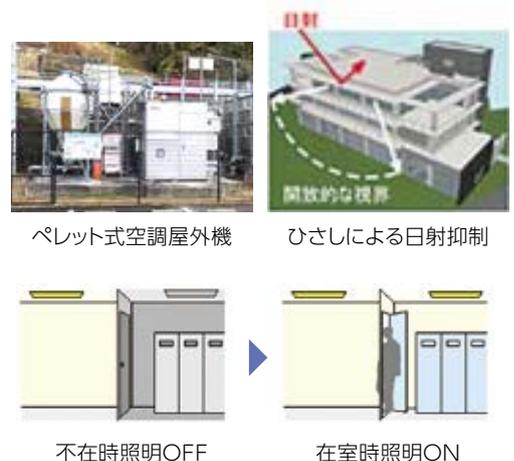
社屋内の様子

③ 省エネを実現する機能

セミナー室や風除室は、ペレット式空調で冷暖房をしています。これは間伐材を利用した木質ペレットを燃焼させる空調機で、森林資源の循環により、カーボンニュートラルで温暖化防止に貢献するシステムです。ペレット式空調を使用する際に排出される焼却灰は農業用肥料として効果が期待でき、地域貢献の一環として、NPO 法人里山ひだまりファームさまに提供しています。

社屋の外壁にはひさしを設け、視界を確保しながら日射を抑制し、室内への熱の流入を防いでいます。

廊下、トイレ、更衣室には、人感センサーを設置し、人を感じると照明を点灯、人がいない場合は自動的に照明を消灯することで、省エネを図っています。



(3) 社内活動

① グリーン購入

文具や備品の購入にあたっては、環境に配慮した物品を購入すること及び環境への取り組みに熱心な事業者から購入することに努めています。



●グリーン購入品目実績(一例)

- ・紙類…印刷用紙、衛生用紙(トイレトペーパー)、封筒等 計8品目
- ・文房具類…ボールペン、ファイル、バインダー、のり等 計70品目程
- ・作業衣類…制服、作業服(ペットボトル再生樹脂使用)、作業用手袋等

② 近隣清掃活動

河内長野ガスは、河内長野市の掲げる市と民間企業等が協力して地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む「河内長野アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、「アドプト・ロード・プログラム」と名付けた本社周辺の歩道の清掃活動(街路樹の落ち葉拾い、雑草除去等)を全従業員で定期的を実施しています。アドプト(adopt)は、英語で「養子縁組をする」を意味し、1980年代半ばにアメリカで始まった制度で、地域住民の道路愛護精神の定義と道路利用マナーの向上を啓発しようとするものです。



近隣清掃



●過去3年間の実績

	回数	実施日
2022年度	9	4月8日、5月10日、6月7日、7月5日、10月7日、12月6日、1月20日、2月17日、3月10日
2021年度	10	4月9日、5月7日、6月8日、7月9日、10月5日、11月2日、12月10日、1月18日、2月8日、3月11日
2020年度	6	4月7日、10月9日、11月6日、12月8日、2月9日、3月9日

2 地域貢献への取り組み

河内長野ガスは、地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長に寄与することや地域団体との連携により地域の発展に貢献することを目的に、長年にわたり地道な活動を行っています。

(1) 次世代育成活動

河内長野ガスは2006年度から河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校を対象に地球温暖化問題を中心とした「小学校出前教育プログラム」を、2022年度までに延べ61の小学校に138回の授業を行いました。コロナ禍の状況下で、実施が見送られていましたが、再開いたしました。

●2022年度の実績

- ・三日市小学校6年生

「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



授業の様子

- ・三日市小学校5年生

「エコ・クッキング」



- ・三日市小学校5年生

「ストップ地球温暖化」



(2) ショールームの地域貢献活動への取り組み

河内長野ガスショールーム「crassimo(クラッシモ)」では地域への貢献活動として、河内長野市社会福祉協議会さまや日本ライトハウスさま等の募金箱を設置しています。

イベント時は、リフォーム工事の際に発生する壁紙等の端材をDIYにご利用いただけるよう処分市を開催しています。売上げを両団体さまに寄付させていただくことで円滑な運営に協力するとともに、廃棄物の削減に努めています。

また、河内長野市の高齢者公共交通利用促進事業の「まちなかクーポン配布事業」にも協賛し、まちなかクーポンを持参されたお客さまには粗品をプレゼントしています。

他にも乳幼児を連れた保護者が外出中におむつ替えや授乳ができるスペースのある施設「赤ちゃんの駅」として登録されています。

インフォメーションコーナーでは大阪府警察さまの特殊詐欺被害防止ポスター、河内長野市自治安全部危機管理課さまの自動通話録音装置貸し出しの案内を掲示し、地域の皆さまへの情報発信を行っています。



DIY素材処分市コーナー



地域の情報を掲示する
インフォメーションコーナー



「赤ちゃんの駅」
ロゴマーク



VIII 働きやすい職場づくり

私たちの約束4

私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくりま



私たちは、従業員一人ひとりが仕事を効率化して、生産性をあげ、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境をつくっていききたいと考えています。

1 やりがいのある職場

(1) 人事制度

① 評価制度

各部署の事業計画・方針に基づいて各自目標シートを作成し、業務を遂行しています。目標達成度合いに応じて評価がなされます。

② 資格取得支援制度

従業員の資格取得や自己啓発を奨励し、従業員のスキルアップを目指しています。業務に関係する資格の場合、会社が費用を負担する等バックアップをおこなっています。また、資格取得は昇格要件にも含まれています。

2 働きやすい環境

(1) 働き方改革

① 有給休暇取得の促進

有給休暇取得の促進は、仕事と生活の調和が実現し、働く意欲の増進に繋がると考えています。業務に支障が出ないよう部署内で調整し、個人別の休暇取得計画表を作成・フォローする等積極的に取得することを促しています。

●有給休暇平均取得日数

2022年度	2021年度	2020年度
11.6日	10.4日	9.3日

(2) 地域の雇用

① 定期的な採用

地域の雇用を支えるため、河内長野ガスは、定期的な採用計画をしています。2023年度は、河内長野在住の新卒者を含めて3名を採用しました。また、定着率も高く、下表にある8名の方も全員が各部署で活躍しています。

●新卒者採用数

2023年度	2021年度	2019年度
3名	3名	2名



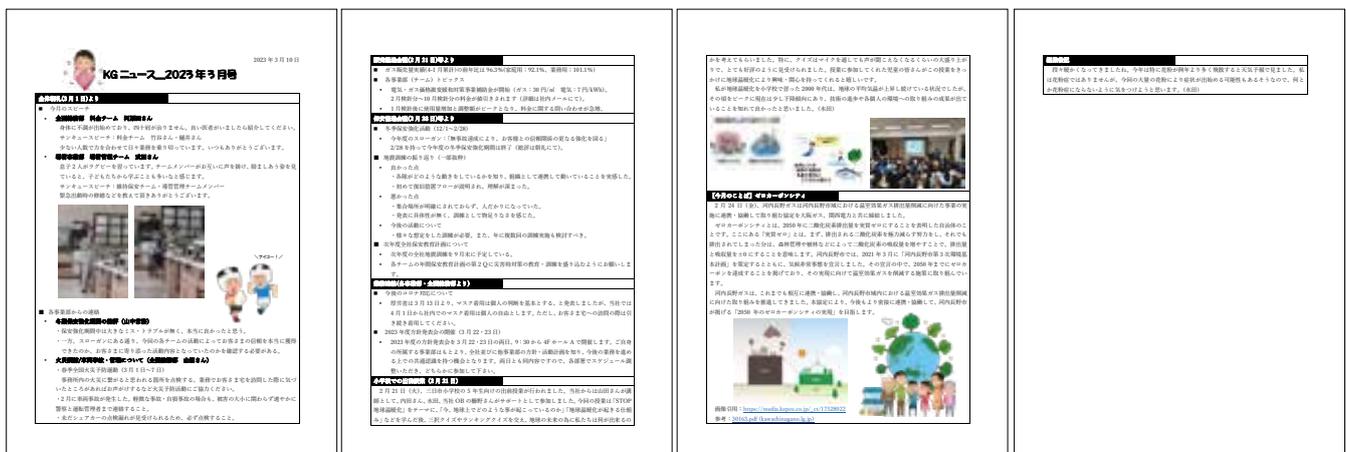
入社者の様子 (2023年4月)



(3) 情報の共有化・社内コミュニケーション

① 社内報の誕生

河内長野ガスでは、2022年10月から全従業員が社内の情報を共有できるように各部署の活動実績や予定、月1回の全社朝礼の際の従業員のスピーチ等を社内報として取りまとめて月1回発信しています。従業員同士をつなぐコミュニケーションツールとしての役割を担い、従業員が楽しんで読める社内報の作成を心がけています。



社内報

3 安全衛生への取り組み

(1) 安全衛生委員会

月1回開催される安全衛生委員会では、部署の垣根を越えた安全面・衛生面に関する情報共有、従業員の要望・意見を集めて議論する等、よりよい職場環境づくりを目指し活動しています。

また、2022年度より、委員会では毎月必ず職場環境や自動車の運転、健康面等に関する危険予知活動を実施しています。委員会後は、委員会のメンバーが活動内容をそれぞれの部署に持ち帰り、情報共有・意見交換することで、事故の未然防止に努めています。

(2) 協力会社安全大会

1年に1回導管事業部及びリフォームチームの協力関係者さま(メーカー、商社、工務店、設備業者)にお集まりいただき、安全大会を行っています。

協力会社安全大会では現場での危険箇所・危険行為・道具の使用方法・工事中の安全行動、ガスに関わる事故事例の検証、現場マナーについて等の研修を行っています。

また、外部講師による個人情報取り扱いやコンプライアンスの講義もいただいています。



安全大会の様子

(3) 従業員の健康を配慮した取り組み

従業員の健康に配慮した取り組みとして、全従業員が受診する健康診断では、通常より検査項目を増やし、希望者にはオプションを追加できるようにしています。また、インフルエンザの予防接種を従業員の費用負担なしで希望者に対して実施し、ストレスチェックも行っています。毎朝のラジオ体操の励行やクラブ活動への費用補助を行っているほか、本社建物内は全面禁煙としています。

今後、健康経営優良法人認定を目指し、取り組みをレベルアップさせていきます。

●ストレスチェックの実施率

年度	ストレスチェック
2022年度	97%
2021年度	97%
2020年度	92%

IV コンプライアンスの取り組み

私たちの約束5

私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、
社会人として責任ある行動をとります。



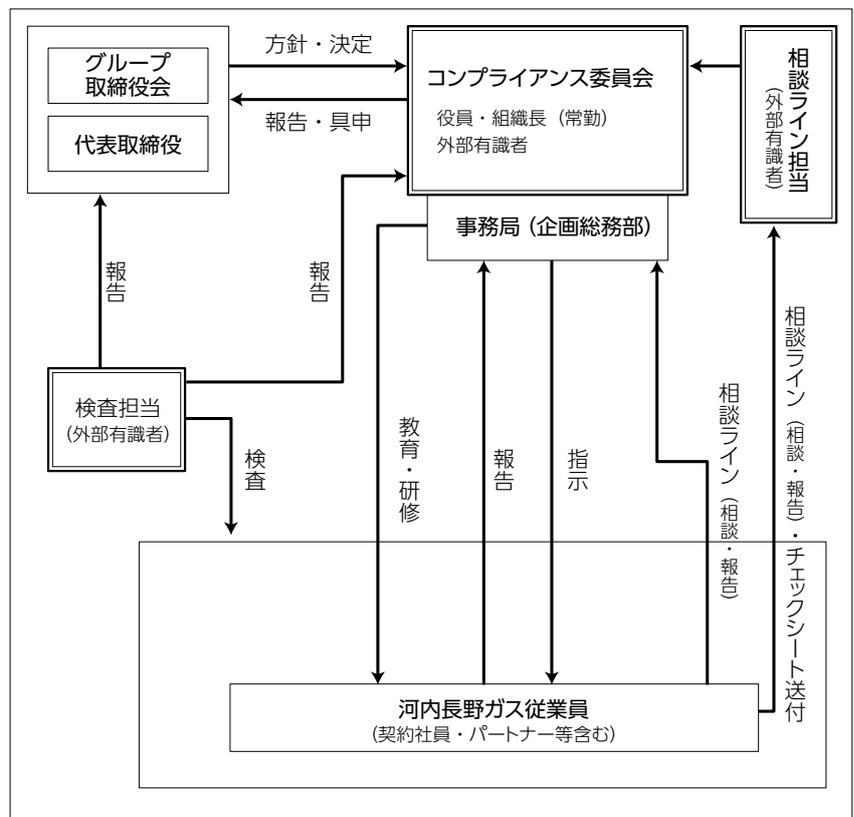
1 法令の遵守と高い倫理観を持った活動

河内長野ガスは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に遵守することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さま等全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとするに努めています。

従業員一人一人がコンプライアンスについて意識を高め、地域の皆さまに信頼される企業でありたいと考えています。

(1) コンプライアンス委員会

定期的に、企業法務の専門家である追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授をコンプライアンス担当顧問としてお迎えして、コンプライアンス委員会を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報共有、意見交換を行っています。



河内長野ガス コンプライアンス組織図

(2) コンプライアンスアンケート

全従業員を対象にしたコンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、コンプライアンスに関する問題の早期発見に繋げるとともに、全従業員のコンプライアンスへの意識付けをしています。

● 回答率

2022年度 98% 2021年度 98% 2020年度 98%

(3) コンプライアンス研修会

定期的コンプライアンス研修会を実施しています。研修会では、その年のタイムリーなテーマを取り上げ、従業員、協力会社の意識付けを徹底しています。

また、全従業員には、いつでもコンプライアンスについて確認できるようにコンプライアンスマニュアルが配布されています。

① 全従業員向け (2022年7月)

追手門学院大学経営学部長 水野浩児教授を講師として、働き方改革と時間管理、ハラスメント撲滅への取り組み、コミュニケーション促進等について講義をしていただきました。



研修会の様子



コンプライアンスマニュアル

② 役職者向け (2022年12月)

大阪企業人権協議会 芝本正明サポートセンター長を講師として、パワハラ・セクハラ防止、ハラスメント撲滅対応等について講義していただきました。

(4) コンプライアンス相談窓口

河内長野ガスでは、コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、水野教授に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

(5) 地域の発展を願う河内長野ガスの新たな価値創造への取り組み

今や子供から大人まで誰もが一度は聞いたことがあるSDGsですが、この10年間で急激に身近なものになったように感じられます。その背景には、この10年程度で、地球温暖化等が進行し、先進国も開発途上国も、持続可能性を考えることが他人事でなくなったことが背景にあるように思われます。また、SDGsという言葉は、単なる御題目の目標ではなく、やらなくては自分たちの未来にも影響が出てくる、という世界的な本気度、切迫感が出てきたとも言えます。

河内長野ガスの長期ビジョンには「地域のお客さまの笑顔ナンバーワン企業」と「地域のお客さまに最も信頼され、支持される企業」の2つが掲げられています。これは、社名のとおり河内長野に拠点を置き、お客さまの多くが河内長野にお住まいであるという、河内長野ガスならではの特色が為せるビジョンだと思っています。この発想は、SDGsの考え方そのものであり、これほど地域社会に密着した企業は全国規模で見ても稀有な存在といっても過言ではありません。

また、河内長野ガスは河内長野とともに歩み続け、地域発展のために存在し続けなければ、存在意義がないとも言えます。

そのような河内長野ガスでは、行動指針を具現化する取り組みの1つとして、2020年度に全社横断組織である「SDGs 部会」を発足させ、地域における様々な活動を重ね、さらには研修会や勉強会等を繰り返すことで、グループ従業員のSDGsに対する意識も高まりを見せています。

ここで、もう一つの用語「CSR」に触れておきます。これは、「Corporate Social Responsibility」の略で、「企業の社会的責任」を意味します。この言葉は、2010年頃に盛んに議論された用語ですが、その延長上でSDGsやESGとなっていった印象があります。このレポートは「CSRレポート」と題していますが、10年以上前からSDGsにつながる活動を河内長野ガスが地道に取り組んできた証でもあり、河内長野ガスが地域の皆さんに責任を果たすことを約束する決意を表現したものとも捉えることができます。私はこの河内長野ガスの「CSR」に対する取り組みには、奥深さと強い決意を感じています。

コロナ禍により、これまでとは違う価値観が生まれ、人々の行動も変容してきました。また資源の高騰やインフレ等により、地域の皆さまのインフラ事業に対する期待はますます大きくなっていてと感じています。そのため、河内長野ガスには、お客さまの「笑顔」と「信頼」を守るため、エネルギーの供給に「+α」の付加価値を感じていただける行動が求められます。河内長野ガスは、地域の皆さまと共に歩み、新たな価値創造・価値提供ができる企業になることこそが、真のSDGsであり、CSR（社会的責任）を果たすことです。こちらからも、河内長野の皆さまと共に前進していくこと企業であることを期待しています。



追手門学院大学 経営学部学部長 水野浩児教授



 Kawachinagano Gas
河内長野ガス株式会社